

第1回カーボンニュートラル施策研究ワークショップ実施結果概要

日時：【熊谷会場】

令和5年10月27日（金）13：30～16：30

【さいたま会場】

令和5年10月31日（火）13：30～16：30

場所：【熊谷会場】

熊谷地方庁舎地下会議室（所在地：熊谷市末広三丁目9番1号）

【さいたま会場】

埼玉会館5B会議室（所在地：さいたま市浦和区高砂3-1-4）

参加市町村数：【熊谷会場】 6市町村

【さいたま会場】 11市町村

会議概要

市町村において「地球温暖化対策に何から取り組んでよいかわからない」という声が多いことを踏まえて、出光興産株式会社にご協力いただき、シナリオプランニングを活用した地球温暖化対策の検討のためのグループワークを実施した。

シナリオプランニングとは、当事者を取り巻く外部環境の未来の可能性を、複数のストーリーで描くことである。

行政は、2050年カーボンニュートラルを見据えて施策を推進してきたところだが、国内外のエネルギー情勢は目まぐるしく変化し、今後、行政には様々な将来像を想定した対応が迫られている。

シナリオプランニングの手法を通じて、各自治体での優先課題の明確化や自治体内部の意思統一の円滑化といった効果が想定される。

今回は、市町村に対し、シナリオプランニングの基礎を説明し、実際に電力排出係数が2030年までに0.25kg-CO₂/kWhに改善しないことを想定して、シナリオプランニングを体験いただいた。

参加市町村からの主な意見・感想

- ・一つの物事を色々な視点から見るとは一人ではできないため、非常にいい経験になった。
- ・自治体同士の横のつながりを作ることができた。
- ・自治体の管理職研修に組み込んでみてもいいのではないかと思った。
- ・持ち帰って内部の合意形成に活かせるか検討したい。
- ・組織内の勉強会でシナリオプランニングを利用できないか検討したい。